

農業振興について

1. 名張市の農業の現状について

本市の総土地面積12,977haのうち、森林面積が6,827haと52.6%を占めています。耕地面積は1,120haで、うち水田が85%を占めており、水田農業が耕地利用の中心となっています。また、傾斜地であることから圃場の大区画化や大型機械の導入が困難な農地が多い中、多数の小規模な副業的農家が水稻単作の農業を展開しております。一方で、少数の主業農家が水稻作、あるいは水稻作と畜産、果樹、園芸作物等との複合で農業経営を行っており、代表的なブランド品目として、伊賀米、伊賀牛、ぶどう、イチゴ、美旗メロンなどが挙げられます。

なお、高齢化に伴う農家の減少や耕作放棄地の増加等が深刻な課題となっています。農業者数や耕作放棄地面積の推移等は次表のとおりです。

	総農家数 (戸)	総農家数の内訳		経営耕地面積 (ha)	耕作放棄地面積 (ha)
		販売農家(戸)	自給的農家(戸)		
H22	1,434	912	522	958	68
H27	1,295	825	470	858	71
R2	1,131	665	466	739	81

〈総農家数及び経営耕地面積〉 農林業センサス 〈耕作放棄地面積〉 農業委員会調

2. 耕作放棄地の実態について

名張市農業委員会では、限られた資源である農地の遊休・荒廃化や違反転用を防ぎ、優良農地を確保するため、日々の活動を通じ無届転用の監視に努めるとともに、毎年、耕作放棄地の実態調査（一斉農地パトロール）を実施しています。

令和6年11月14日から11月25日にわたり実施した結果は、次表のとおりです。

耕作放棄地実態調査（農地パトロール）結果（名張市全域）

	令和5年度放棄地		新規発生		解消済		令和6年度未現在	
	筆数	面積（㎡）	筆数	面積（㎡）	筆数	面積（㎡）	筆数	面積（㎡）
名張	3	2,429	0	0	0	0	3	2,429
蔵持	34	19,984	8	9,347	0	0	42	29,331
薦原	156	64,784	3	2,944	3	2,243	156	65,485
美旗	112	71,885	2	2,821	13	10,719	101	63,987
錦生	12	7,080	7	7,362	4	1,530	15	12,912
赤目	13	8,609	9	5,735	2	4,282	20	10,062
箕曲	62	28,970	1	19	5	2,802	58	26,187
比奈知	67	46,936	3	2,987	5	6,144	65	43,779
国津	51	41,904	1	1,586	1	1,638	51	41,852
合計	510	292,581	34	32,801	33	29,358	511	296,024 (29.6ha)

※森林・原野化により耕作不能（再生不可能）農地の面積 446,016㎡（44.6ha）は含んでいません。

3. 集落単位での農地維持・生産活動について

市内での生産活動は自己完結型が中心となっている一方で、地域で農地を守る観点で農地維持及び生産に取り組む集落ぐるみの活動が展開されています。

(1) 集落営農 5組織

	設立年	設立目的	主な作物	規模(R7) (ha)
東田原 営農組合	H18	・農作業の受委託及び組合員の農業の共同化を通じた効率的な農業経営の実現、地域の農用地の利用集積、農用地の保全、地域農業の担い手として発展 ・地区内の農用地の使用収益権を有するものの相互協力による組合員の共同の利益の増進	小麦	約1.3
美旗中村 営農組合	H25		そば	約0.5
南古山 営農組合	H27		水稲	約1.5
こもはら 営農組合	R5		水稲	約4.0
新田 営農組合	R7		水稲	—

## (2) 日本型直接支払制度による取組

### ア. 多面的機能支払交付金

農業・農村が有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、農業者等により組織された団体が行う地域の共同活動を支援するものです。

◇令和7年度 21地区 (取組見込面積：約531ha)

### イ. 中山間地域等直接支払交付金

平地との農業生産条件の不利を補正することにより、農業生産活動等を維持し、多面的機能の確保を図るものです。

◇令和7年度 13集落 (取組見込面積：約50ha)

### ウ. 環境保全型農業直接支払交付金

※集落単位での取組ではありませんが、グループ単位で活動する取組です。

農業者の組織する団体等が、化学肥料及び化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援するものです。

◇令和7年度 3グループ (取組見込面積：約41ha)

## 4. 地域農業の将来像について

農業経営基盤強化促進法の一部改正により、令和5年4月より地区ごとに地域農業経営基盤強化促進計画（以下「地域計画」という。）の策定が義務付けられました。以前は「人・農地プラン」として地域農業の将来像を描いていましたが、改正後は、将来像に加えて、将来誰がどの農地を耕作するのかを示した目標地図を作成することとなりました。

本市では、令和7年6月末現在、36地区で計画を策定しました。本計画は市が策定するものですが、策定にあたっては、10年先を見据えて地域の農地を誰が担っていくのか、次世代に引き継ぐための地域農業の将来像について、地域の皆様をはじめ、農業委員会、農地中間管理機構、JA、三重県等の関係機関が一体となり話し合いをすることが重要となります。引き続き、今後策定予定の地区での取組を進めるとともに、策定済みの地域での計画実践や計画のブラッシュアップに地域の皆様とともに取り組みます。

## 5. 名張市農業マスタープランについて

当マスタープランは令和9年度を目標年度とし、平成29年度に策定しました。

設定した目標値に対し、進捗状況は次表のとおりです。

将来像	基本施策	指標項目	設定時 (2016) H28	現状値 (2020) R2	現状値 (2021) R3	現状値 (2022) R4	現状値 (2023) R5	現状値 (2024) R6	目標値 (2027) R9	
1. 多彩な担い手が活躍する"なばり農業"	(1) 多彩な担い手の育成・確保	・認定農業者数〔人〕	40	41	37	40	39	40	47	
		・新規就農者数(年間)〔人〕	2.6	0	0	2	0	1	3	
	(2) 持続的な営農体制・営農支援体制の構築	・担い手への農地の集積面積〔ha〕	89	117	109	115	119	123	136	
		・「人・農地プラン」策定数(地域)〔プラン〕	3	3	3	3	3	—	6	
	(3) 農業生産基盤の維持・保全	・多面的機能支払制度取組主体数〔組織〕	24	24	24	23	23	21	26	
		・中山間地域等直接支払制度取組主体数〔組織〕	15	12	12	12	13	13	15	
		・イノシシ捕獲頭数(年間)〔頭〕	64	123	36	55	32	84	130	
		・シカ捕獲頭数(年間)〔頭〕	214	451	502	373	407	443	400	
	2. 価値の高い農産物づくりを目指す"なばり農業"	(1) 需要に応じた農業の推進	・伊賀米の「特A」評価取得	特A	—	—	特A	特A	特A	毎年
		(2) 魅力ある農産物づくり	・名張市の農産物の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合〔%〕	44.4	43.8	42.1	43.3	42.1	36.6	50.0
・名張市の農産物を消費している市民の割合(地産地消の割合)〔%〕			68.1	—	—	68.1	66.3	62.0	75.7	
3. 市民と交流し他分野と連携する"なばり農業"	(1) 人々が交流する美しいむらづくり	・多面的機能支払制度取組主体数〔組織〕	24	24	24	23	23	21	26	
		・中山間地域等直接支払制度取組主体数〔組織〕	15	12	12	12	13	13	15	
		・環境保全型農業直接支払制度〔a〕	893	1,469	1,066	1,152	1,043	1,016	1,000	
		・市民農園の利用率(区画単位)〔%〕	74.0	55.7	54.4	48.1	56.3	55.9	100.0	
	(2) 農業と他分野との連携	・農業分野への障害者の新規雇用数〔人〕	6	2	1	1	0	2	8	
		・観光農園入込客数〔人〕	47,492	36,685	22,610	28,424	33,127	27,440	60,000	

## 6. 今後の取組の方向性について

高齢化や後継者不在による農家の離農が顕著となり、これまで本市の農業を支えてきた副業的農家も減少しています。離農後の農地は、農事組合法人をはじめ大規模農家へ集積することにより米の生産面積は微減で留まっているところです。しかしながら、大規模農家では大型機械を導入し作業の効率化を図っている中、市内に多く存在する、小区画で圃場に大型機械が入りにくい生産条件不利地では、大規模農家への農地集積が困難な状況となっています。

生産条件不利地では、中山間地域等直接支払交付金を活用した集落ぐるみでの農地維持

を継続していただきながら、地域計画の制度では、その計画実践において定期的に地域の皆様に現状把握や話し合いを行う機会がありますので、これをツールとして、集落営農をはじめとし地域にあった農業の展開を地域の皆様と関係機関が一体となり検討します。

また、引き続き “なばり農業” の実現を目指し、多彩な担い手の育成、価値の高い農産物づくり、農業・農村の新たな価値の創造に取り組みます。

【参考】 農業振興地域及び農用地

名張市都市マスタープラン資料編より抜粋

